

# 二中図書館だより



中野区立第二中学校  
図書館指導員秋元

## 図書館の可能性 Ⅱ

学校図書館は皆さんの『本を読んで感動した！勇気をもらった！元気になった！視野が広がった！…』という気持ちを大切に考え様々な本をそろえています。それは本のみならず漫画であっても同様と考えます。そこで二中図書館では学習漫画以外にも漫画をおくことにしました。図書館長である校長先生の発案です。

ここで改めて漫画に関するルールを確認しておきましょう。

❑ 禁帯出シールの漫画は図書館内で読みましょう →→→

❑ 一部の貸出可能な漫画はおうちで読みましょう

❑ 朝読書では学習漫画であっても読めません(朝読書は活字に親しむことが目的)



漫画を勝手に持ち出してしまい、漫画を置くことを禁止にした学校があると聞きました。一部の生徒の行為のために多くの生徒が我慢を強いられたのです。図書館でもそうですが、集団での生活には必ずルールがあります。それを意識し全ての生徒の皆さんが気持ちよく過ごせることを祈るばかりです。今回の漫画の設置は、皆さんへの信頼が根底にあるもの。この信頼にこたえきまりを守り、図書館での可能性をもっと広げていきましょう。



## □図書館委員長の川畑一流さん、校長先生にインタビュー□



校長先生が図書館に漫画を置くことをすすめてくださった理由は何ですか？→

活字離れを懸念して。今はインターネット全盛の時代で文字に親しむことが少なくなっている。せめて漫画を通して語彙を覚えたり、文字が苦手な生徒のとっかかりになってほしい。私もカッコいいセリフの四文字熟語を使ってみたり、興味を持って調べたりした。

私たちに漫画や本を通してどんな力をつけさせたいですか？→

相手の気持ちをおもんばかる、文面から相手の気持ちを推しはかる、私はこう感じた…などコミュニケーションの力をつけてほしいと思っている。そんな考えもあるのか、ということを知るようになってほしい。

校長先生は漫画に対してどんなイメージを持っていますか？→

目標とか、漫画を通してイメージが持てたと思っている。登場人物に心情を合致させて自分をイメージすることができた。恋愛もそうだった(笑)。漫画からはいろんなことを教えてもらった。みんなにも漫画を通して、本を読むきっかけになっていってくれたらと思う。



## 6月の特設コーナー

\* 歴史上人物当てはしばらくお休みです

本格的な夏になる前、日本の上空では北の冷たい空気と太平洋からの湿った暖かい空気がぶつかり、境目に雲ができて雨が降ります。ふたつの空気の力がぶつかり合い、雲が発生し続け、雨模様の天気いわゆる梅雨になります。6月の特設コーナーはこの“雨”に関するものです。晴耕雨読、雨の日は読書、見にきてね～。

# 雨に関する本



### ・雨が降るしくみを理解したい…

- 「天気のおもしろい事典」ブライアン・コスグローブ
- 「暦と天気のかかわりを探る」日本気象協会
- 「日本の天気の特徴をつかもう」Gakken
- 「雨、雪、天気の変化を知ろう」Gakken
- 「楽しい気象観察図鑑」武田康男
- 「お天気用語事典」饒村曜



### ・雨の恵みを感じたい…

- 「絵本ごよみ 二十四節気と七十二候 美しい日本の季節と衣食住 夏」
- 「散歩が楽しくなる 空の手帳」森田正光
- 「雨の日には…」相田みつを
- 「ちひろ美術館 きらめく夏」いわさきちひろ絵本美術館



### ・災害に学び後世に伝えたい…

- 「写真絵画集成 日本災害史3」岩切信

### ・天気の不思議を解決したい…

- 「アマタツさん、ネコが顔を洗うと雨が降って本当ですか？」天達武史
- 「天気予報が楽しみになる本」渡辺博栄
- 「大雑学 お天気のミステリー」日本雑学研究会



### ・雨模様の日の小説・物語が読みたい…

- 「雨の降る日は学校に行かない」相沢沙呼
- 「雨のち晴」東京子ども図書館
- 「雨だれぼとり」イーダ・ボハッタ
- 「雨の動物園 私の博物誌」舟崎克彦
- 「雨やどりはすべり台の下で」岡田淳
- 「どしゃぶりのひに」木村裕一
- 「おおかみこどもの雨と雪」細田守
- 「晩夏のプレイボール」あさのあつこ
- 「雨よりせつなく」吉元由美



- 「雨降る森の犬」馳星周

- 「雨ふる本屋」シリーズ 日向理恵子

### ・キリスト教・江戸時代・広島では雨といえば…

- 「聖書物語1 天地創造」舟崎克彦
- 「雨月物語」佐藤さとる
- 「黒い雨」井伏鱒二

